

令和5年度札幌市検診情報システム管理運用業務にかかる質問と回答

質問	回答
1 引継ぎ等業務の期間中の人数は何名を想定すべきでしょうか。	実際の業務に従事する方2～3名が望ましいと考えます。
2 医療機関への問い合わせ、医療機関からの問い合わせは現地のお電話をお借りできるのでしょうか。また1日1名対応できる人員がいれば問題ないでしょうか。	医療機関との連絡にあたり使用する電話は、委託者が用意いたします。また、電話連絡に要する人員については、お見込みの通りです。
3 現在実施している業者様の運営人数等は伺う事は出来ますでしょうか。可能な場合、閑散期・繁忙期で何名程度でしょうか。	現在の受託業者は、1日あたり1～3名程度で作業しています(データ搬送担当者除く)。1か月の中でも、医療機関からの請求書締め切り前後の2週間程度は複数名体制が望ましいと考えます。
4 データ処理の時間として、1件あたりどの程度で処理可能でしょうか。※がん検診・肝炎ウイルス検診と歯周疾患検診で異なる場合は、それも伺えますと幸いです。	・OCR読み込み→PC画面で確認(必要に応じて修正)までで、記載漏れ等の大きな不備がなければ1件あたりに換算すると2～3分程度と見込まれます(※)。その後、システムに登録するために、内容の確認を行い、CSVファイルに出力・システムへの取込を行います。これらについてはまとめて処理をします。 ・がん検診、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診の1件あたりにかかる処理時間は概ね同じです。 ※対がん協会、結核予防会(肺がん検診)、北海道健康管理センター(肝炎ウイルス検診)に関しては、データ(CD-R)の取込のため、この限りではありません。
5 利用できるPCの台数は何台になりますでしょうか。	現在は、PC4台(うち1台はOCR接続)を使用しています。なお、個人情報保護の観点から、いずれもインターネットには接続されません。
6 搬送において、頻度はどの程度発生致しますか。日々発生するのでしょうか。	搬送が必要な帳票類はほぼ毎日発生いたします。
7 業務上の必要経費は、搬送時利用するケースと交通機関以外、履行場所での文具等以外、何が必要となりますでしょうか。	左記以外、必要となるものはありません。なお、文具類等の消耗品に関しては、必要最低限のもの(筆記具、付箋紙、ホチキス針等)については、委託者から提供可能なものもあります。
8 種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上にわたって締結したことがあり、かつこれらをすべて誠実に履行した者であること、とありますが、この履行は契約の締結実績のみではなく、業務が完了している契約のみが対象となりますでしょうか。例えば、本年4月に契約は締結済みで、現在運営中の委託業務は実績と認められますでしょうか。	契約締結実績が対象となりますので、現在履行中の業務があればそれも含まれます。

9	種類及び規模をほぼ同じくする契約の、「同じく」とは、本委託業務「健診情報システム管理運用業務」とほぼ同じという理解になりますでしょうか。	お見込みの通りです。
10	過去の契約実績について、「種類及び規模をほぼ同じくする契約」と認められるかどうかは入札前には分からず、開札後、落札候補者となった時点で、その実績について審査が行われるという理解でよろしいでしょうか。 また契約実績が資格要件を満たしているかどうか弊社側で確実に判断ができない状況で落札候補者となった場合に、実績について「種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上にわたって契約したことがあり、かつこれらすべて誠実に履行した者であること」と認められなかった場合、何らかのペナルティはありますでしょうか。	本件は事後審査型一般競争入札ではありますが、入札参加資格の有無については御社にて事前にご確認くださいようお願いいたします。なお、開札後に落札候補者の入札参加資格審査を行った結果、参加条件に欠けていると判断された場合、当該入札は無効となり契約行為に至ることはできません。